

株まるつね 生産履歴システム採用

QRコード採用

まず「萬藤・千切大根」で

「食の安全」の欲求が高まる中、株まるつね（栃木県壬生町、戸崎裕民社長）は「宮崎産千切大根」について、トレーサビリティシステムを導入すると共に、このところ大きく展開している「QRコード」を商品に表示、購入現場でその商品の「履歴」が分かるシステムを採用した。第一弾として株萬藤（東京都台東区西浅草、部二友社長）の「千切大根」2種に採用した。乾物でこの方式を採用したのは恐らく初めて。



農産物識別番号：04506136
商品バーコード：497803506

「食の安全追跡システム・畑の履歴書」と名付けられたこの方式は、商品に表示されている「QRコード」(図)を携帯電話のバーコードリーダー読み取らせ、これをサイトにアクセスす

ることで品種、生産地、出荷者、栽培履歴等の商品情報、及びレシピ(料理の作り方等)を得られるというもの。

出荷者については株まるつねが現地設立させた㈱隆福(宮崎県清武町)にしている。

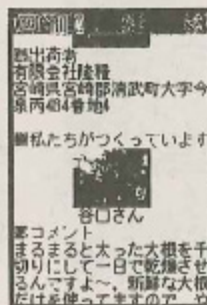
更に商品に製造(包装)段階で印字表示される「生産ロット番号」(12桁)およびJANコード(通称・バーコード、13桁)を入力するコード、⑤原料収穫日(また

これを整理すると①旬のレシピ、②お客様の声B.O.X、③栽培情報、④出荷者コメント、についてはQRコード、⑤原料収穫日(ま

そして「出荷者のコメント」(完熟大根をひとつひとつ丁寧に千切にして自然乾燥させました。乾燥大根ならではの凝縮された風味



商品下部にQRコードなど明示



携帯電話画面で情報提供